

第 ③ 章

鳥飼まちづくりブランドデザインの実現に向けて

- 1 鳥飼まちづくりブランドデザインを実現するための進め方等……………72
- 2 市の主な取組……………74

鳥飼まちづくりグランドデザインを実現するための進め方等

鳥飼まちづくりグランドデザインを実現していくためには、これまで以上に住民や地域活動団体、事業者等の連携・協力が必要不可欠です。今後の取組の方向性について、以下に示します。

(1) グランドデザインの具現化に向けた工程

グランドデザインに掲げられた各エリアの将来予想(将来に向けたまちづくり)や取組の方向性等については、説明会等あらゆる機会を通じて地域のすべての世代の住民、関係するすべての地域活動団体、事業者等に周知し鳥飼地域の現状や課題を共有するよう努めます。

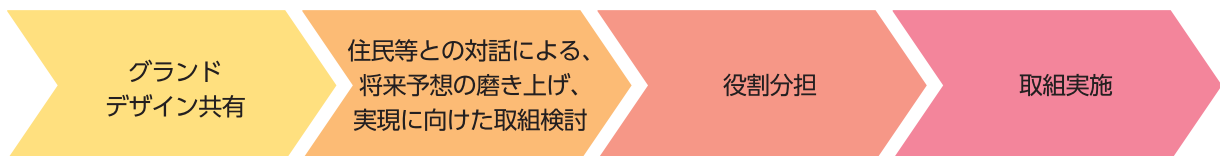
グランドデザインの具現化に向けては、特に若い世代を意識して多様な世代の地域住民や関係者等との対話を重ねながら地域の意見も踏まえた将来予想に修正し、修正後の将来予想の実現に向けた取組等の優先順位、関係者間の役割分担について整理等を行います。

関係者等の協力を得られたものから具体的な市の施策や事業スキームを検討し、事業実施に向けた財源確保に取り組みます。

将来予想の実現に向けた取組は、住民や地域活動団体、事業所等との協働により進めていくことを目指します。

また、住民や地域活動団体が中心となる活動に係る資金については、クラウドファンディング等の手法を活用した市中からの資金調達を想定しており、市としては住民や地域活動団体の自主性・主体性が発揮できるような環境づくりの支援を検討していきます。

【参考】取組実施に向けた住民等の参画イメージ



【参考】摂津市における「3つの『きょうどう』」と「協働のまちづくり」

【3つの「きょうどう」】

「きょうどう」には3つの考え方があり、どの「きょうどう」も、まちづくりを進めるうえで欠かせない取組みの形態です。

	立場	活動	目的
共同	同	同	同
協同	異	同	同
協働	異	異	同

共同：複数の人や団体が同じ目的のために同じ立場で同じ活動を行う

協同：複数の人や団体が同じ目的のために異なる立場で同じ活動を行う

協働：複数の人や団体が同じ目的のために異なる立場で異なる活動を対等に行う

今後広げていく必要がある
“きょうどう”

【協働のまちづくりとは】

摂津のまちをより良くしていくために、それぞれが個別に取り組むよりも、多様な人や団体が持ち味を生かして連携・協力する(つながる)ことで、より多くの成果を生み出すことです。

コンパクトな摂津市の良さである“顔が見える関係性”を生かしながら、まちづくりを進めていきます。そして、摂津市独自の取組を生み出し、まちの特色や魅力を発展させていきます。

(2) グランドデザインの進捗管理・検証

グランドデザインの実現には、長い時間が必要であり、適宜実現に向けた取組を確認し、その方向性を検証し、必要に応じた見直しが必要となります。

今後、庁内において横断的な組織を設置し、グランドデザインの進捗管理及び取組の検証を行っていきます。

また、グランドデザインは概ね10年を目途に、将来予想の実現性やその実現に向けた取組状況を総括し、必要な見直しを行うこととします。ただし、今後の社会情勢の大きな変化やまちづくりに関係する法令等の大幅な改正、各分野計画で構成する摂津市行政経営戦略の改訂等に併せて、10年以内であっても適宜必要な見直しを行うこととします。

2

市の主な取組

住民や地域活動団体、事業者等の適切な役割分担のもと、市として以下の視点から取り組んでいきます。

(1) 公共空間の確保

公共空間は、地域活力の維持・向上につながり、地域の住民等にとって実効性の高い、より価値あるサービスを提供できる場として、必要不可欠なものです。市としても、人口減少、少子高齢化の進行等による財源縮減が懸念される中であっても、公共空間の確保に向けて、既存施設の利活用法の再検討、必要に応じた施設整備等について検討を進めていきます。

しかし、公共空間を確保するだけでは、地域活力の維持・向上にはつながりません。公共空間を適切に活用し、地域活力へ還元するためには、地域の住民の皆様等による維持管理への協力、効果的な活用方法の検討が必要不可欠です。計画段階から地域の住民等と連携しつつ、検討を進めていきます。

(2) 住民や地域活動団体等への支援

ランドデザインに示す将来予想(将来に向けたまちづくり)のように、地域が活性化し、あらゆる年齢層の人たちが生活を楽しんでいる未来の実現には、住民や地域活動団体等の役割は大変重要で、主体的にまちづくりへ参画いただけるような環境づくりは必要不可欠です。

そのため、住民や地域活動団体等まちづくりに関わる様々な人たちが意見交換・交流できる場づくり、人材や財源の確保に向けた支援等、市としても可能な限り、関係者が主体的に取り組めるまちづくりを支援できる体制について検討していきます。また、事業者等による開発行為に対する公民連携の可能性についても検討していきます。

(3) 事業者の協力

ランドデザインに示す将来予想における事業者の役割は大変大きく、特に「企業と住民の共存発展エリア」では豊かな地域づくりに不可欠な存在です。住民等のニーズと事業者の強みである多様な資源(ノウハウ、人材、資金等)とをマッチさせる機会の創出等、事業者が地域のまちづくりに積極的に参画いただける仕組み等について検討していきます。

特に、新たな公共空間を確保するための施設整備等においても、事業者の活力を活かした公民連携の仕組みについて検討していきます。



鳥飼まちづくりブランドデザイン

令和4(2022)年7月

発行／大阪府摂津市 摂津市 市長公室 政策推進課
〒566-8555 大阪府摂津市三島1丁目1番1号
電話：06-6383-1111
ホームページ <https://www.city.settsu.osaka.jp/>
